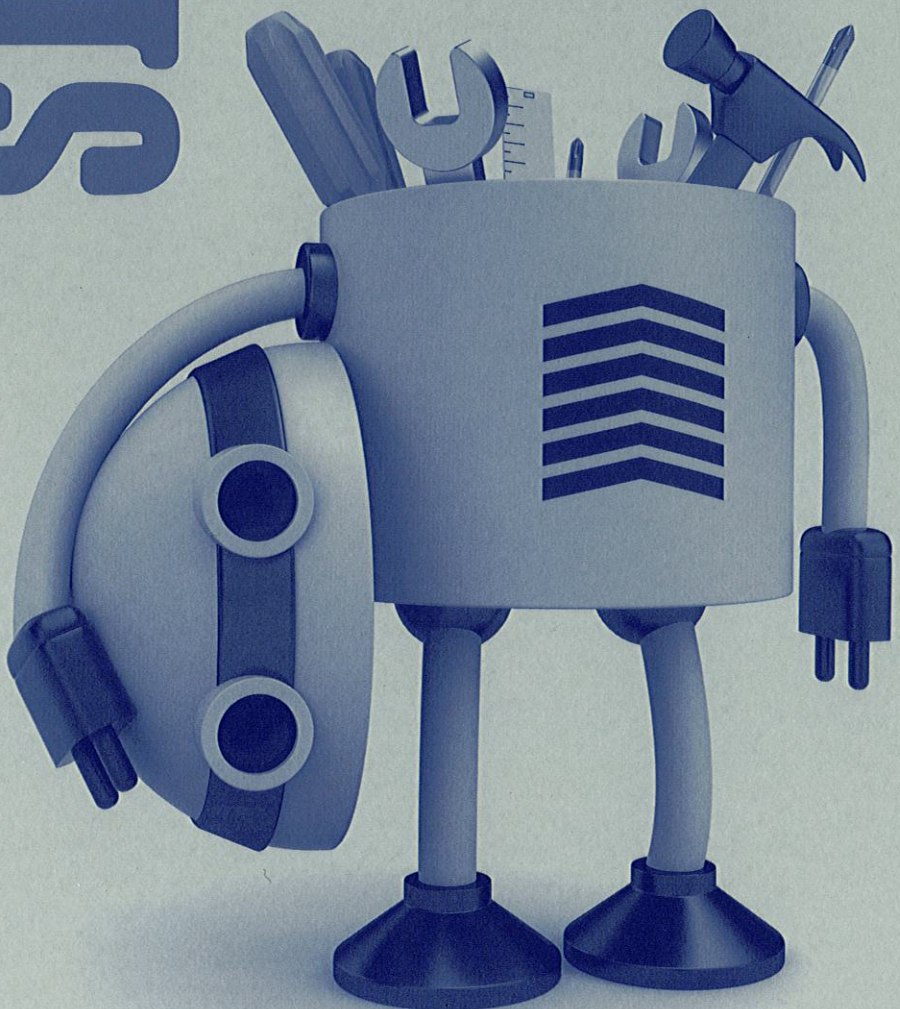


AIR-6 DUCTS INSTALLATION

ダクト
入門書



目次

はじめに	2
見えないところにダクトマン	3
第1課 建物に生命を与える「設備」とは	19
第2課 ダクトの設計・積算と施工計画	25
第3課 ダクト工事はどのように行われるか	37
第4課 ダクトの基礎	41
第5課 ダクトはどうやって作られるか	47
第6課 ダクトはどうやって取付けられるか	59
第7課 ダクトの附属品	77
第8課 あと施工アンカーについて	87
第9課 プロをめざして	95
ダクト工業会用語集	103
補足資料	119
編集後記	125
作成委員会委員名簿	126

はじめに

本書『ダクト入門書』は、新入社員はもとより、業界に初めて関わった方々への解り易い、見易い、手引書とする事を最優先に、編集構成いたしました。また、矩形ダクトを中心に内容を集約いたしました。

あえて数値表記におきましては、例えば国交省仕様で矩形アングル工法の吊り間隔は最大間隔 3640 mm となりますが、実際の現場では完成検査時には指摘手直し事項となることが多くないか？本書では推奨値で 2750 mm と表記しました。また、製作におきましては、中間アングル補強の最大間隔も 925 mm ではなく、910 mm と表記しました。他も同様の考えで推奨値を表記しています。

所属会社の推奨値は必ず確認して下さい。本書とは業界のバイブルである『国交省仕様書』を一読することをお勧めいたします。

講義をするにあたっては、本書は、国交省仕様書に準じた数値を表記していないことと、ダクト業界向け限定での新人向けテキストであることを理解し取り扱って下さい。

本書が僅かばかりでも、はじめて業界に関わりをもった人の為に、役立つ資料となっていれば幸いです。

関東ダクト工業会
『ダクト入門書』作成委員会

見えないところに ダクトマン

世の中の快適さと安全を守る
強く優しいヒーロー

